



5月 園だより

江東区立平久幼稚園
園長 垣脇 史枝



楽しかった！また明日もやりたい！

副園長 松澤伸枝

園庭を見上げると、年長組が仲間と一緒につくったこいのぼりが春の風を受けて、気持ちよさそうに泳いでいます。清流に逆らって力強く泳ぐ鯉のように、平久の子どもたちも、困難に負けず強くたくましく健やかに育ってほしいと願っています。

さて、進級・入園して3週間が経ちました。どの学年も、それぞれのペースで新しい環境に慣れ、笑顔で楽しそうに園生活を過ごす様子が見られるようになりました。年長組は、学級の人数が1番少ない中で同時に入園した年少・年中組に優しい気持ちで寄り添い支えてくれています。様々な行事にも幼稚園のリーダーとして頑張る姿がとても頼もしいです。昨年度、お兄さん・お姉さんに教えてもらいながら一緒に遊んでいた大型遊具を自分たちが主体となって使える嬉しさを感じながら、考えたり試したりして友達と一緒に構成することを楽しんでいます。年中組は、入園前に、プレ幼稚園ジャンプクラスとして今の年長組と一緒に幼稚園の生活を体験してきたこともあり、入園当初から憧れていたことを「何でもやってみたい！」と意欲的に環境に関わり楽しんでいます。隣の保育室で先輩として楽しい遊びを展開している年長組に刺激を受け、共に遊び、日々体験を増やし生き生きと遊んでいます。年少組は、入園当初、おうちの方と離れることに不安を感じる姿も見られましたが、やりたい遊びに関わり楽しむ中で少しずつ行動範囲も広がっていき、安心して過ごす様子が見られるようになりました。初日から3日間、年長組保護者の皆様が年長児と一緒に、身支度の仕方など、マンツーマンで優しくサポートして下さったことも大きな安心感につながったと思います。本当にありがとうございました。初めてがはいっぱいの毎日の中で「楽しかった」「明日もまたやりたい！」が積み重なって「幼稚園は楽しいところ！」と感じられるようになってきたようです。

私たち教師は、日々、今日はこの子は何が楽しかったのかな？どんな気持ちだったのかな？困っていたことは何かな？どんなことに興味をもっているのかな？と、一人一人のこどもに寄り添いながら、表情や言葉、行動の意味を探りこどもたちの内面を理解することを大事にし、翌日の保育環境を整えています。昨日よりも今日、今日よりも明日へと成長するこどもたちの新しい毎日が「かがやく！」ように、幼児理解をもとに環境や援助を工夫し、一人一人のよさや可能性を伸ばす教育活動を進めてまいります。

【5月のねらい】

- 年少 ・教師や友達と一緒に過ごすことに安心感をもち、自分の好きな遊びを見つけて楽しむ。
 - ・身の回りのことを教師に見守られながら自分なりにやろうとし、自分でできた喜びを感じる。
- 年中 ・教師や友達と触れ合ったり、戸外で体を動かして遊んだりする。
 - ・所持品の始末やお弁当の準備など、自分のことは自分でしようとする。
- 年長 ・自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の思いを聞いたりしながら、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。
 - ・体を思いっきり動かして遊ぶ楽しさを味わったり、自然に興味をもって関わったりする。